



本日の
プログラム

やってみたい!を育てる企業

—男女フラットな目線で共に成長できる企業へ—

(株)井上技研 石村 美貴氏

記念日は北海道のワインで乾杯!

(有)インターリンクジャパン

～ワイン産地に向かう北海道で、日本ワインの持続的な消費拡大を目指す～ 代表取締役 阿部さおり氏

北海道のワインが年々美味しくなり、個性を増し、味わい深くなっていることをご存じですか。

一部のワイン愛好家を楽しまれている日本ワインは、銘柄が多く選び方が分からない、どこで買えるのか、何と合わせると美味しいのかなど、選択肢の幅が広く選びにくいとの声も多く聞かれます。地元のワインは、地域に住む私たちが一番身近に楽しめる贅沢な嗜好品です。もっと気軽にテーブルワインとして楽しめたら…という思いを日々抱きながら、日本ワインを愛飲しています。

北海道の醸造所は2022年8月時点で53軒に増え、10年前の約3倍です(山梨県、長野県に次ぐ軒数)。年内には新たなワイナリーの開設予定もあり、醸造用ブドウの栽培面積は全国一位です。

産地は、果樹栽培地としてポテンシャルが高い余市町・仁木町が位置する後志地方24軒、空知地方7軒、上川地方5軒、札幌圏5軒、胆振地方1軒。さらに、十勝地方で1963年の十勝ワイン誕生以来56年ぶりのワイナリーが2019年に帯広市に誕生したほか、芽室町、池田町、北見市や、日本最北のワイナリーとして名寄市にも新たな醸造所が開設されました。

仏ブルゴーニュの名門ワイナリー「ドメヌ・ド・モンティエユ」が道南の渡島桧山地方に日本法人を設立し、函館市に9haの畑でブドウを栽培し、2023年に醸造所開設を予定です。2021年には上ノ国町で小学校の廃校をリノベーションし、日本では珍しいサテライトオフィスを持つワイナリーの誕生など、道内各地域でのワインづくりは、点から面へと産地を広げつつあります。

品種は、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所(十勝ワイン)が、仏で育成された「セイベル13053」の枝分かれの固有品種「清見」と在来種「ヤマブドウ」を独自に交配、品種改良した「山幸」が、2020年12月に山梨県の「甲州」 「マスカット・ベリーA」に次いで0. I. V. 国際ブドウ・ワイン機構に国際品種として登録されました。

1972年からは、小樽・北海道ワインの直轄農場として447haを有する浦臼町鶴沼ワイナリーでワイン専

用品種の試験栽培が始まり、ドイツ原産の「ケルナー」「ミュラー・トゥルガウ」、オーストリア原産の「ツヴァイゲルト」が醸造銘柄の主流となる中、2013年以降は仏ブルゴーニュ地方で栽培される「シャルドネ」「ピノ・ノワール」が栽培面積を広げています。

欧州の銘醸地さながらのミネラル溢れる優雅なワインから、日本の出汁に通じる旨味を感じる味わいまで、つくり手たちの個性が、日本ワインの楽しみ方に一層の魅力を深めています。

近年ワインづくりを取り巻く環境は目まぐるしく変わり、気象条件は温暖化が注目されていますが、それぞれの地域の気象条件に合う品種でのワインづくりが必要であると分析されています。つくり手にとっての課題は、毎年の気象条件から今年のブドウの出来を読み取ることができる仕組みが必要とのこと。日本ワインの歴史が140年を迎えた今、北海道大学が道や道経連などと連携し、北大構内に「北海道ワイン教育研究センター」を設立し、道内のワイナリーや新規参入者の相談窓口を開設する動きも、産地化への大きな弾みとなる兆しです。

北海道がワイン産地化へ向けて世界に通用するワイナリー集積拠点を目指すなか、私たち飲み手は地元ワインを気軽に味わう機会をつくりながら愛飲し、北海道産ワインの持続的な消費拡大への道筋をつけてゆかなければならないのではないのでしょうか。

私たちの日常、生活の一部に北海道のワインがある食文化を思い描き、記念日には「北海道のワインで乾杯する日」を実践し、日本ワインを身近に気軽に味わう北海道のワイナリー巡りを、是非一緒に楽しみませんか。





第3024回 9月15日(木) 例会記録

■ 司会

井上善博 会長

■ ゲスト

有限会社インターリンクジャパン 代表取締役 阿部さおり氏

■ 出席率

会員数111名 欠席44名 出席規定除外4名 **58.88%**

■ 9/1 出席率

会員数111名 欠席0名 出席規定除外4名 **100%**

会長報告

- ①10月15日に開催される地区大会に51名の申込みをいただきました。感謝しています。指定参加者以外はZOOM参加となりますが、よろしくお祈いします。
- ②地区より2022-23年度職業奉仕委員会研修会の案内が届いています。ZOOMでの研修で、9月23日(秋分の日)AM9:00～11:30までとなっています。講師は、塚原房樹パストガバナーで、演題は「ロータリーの過去・未来」です。対象者は、会長・幹事・職業奉仕委員長となっていますが、希望者の参加もOKとなっています。ロータリーの職業奉仕について学べる貴重な機会ですので是非参加してください。申込期限は9月19日となっております。希望の方は、事前申し込みが必要となっておりますので事務局まで連絡をお願い致します。



The memorial day 今週のお祝い

誕生日 酒井 純

結婚記念 清水 哲、齋藤雅之、田尾重良

入会記念 土谷令次、伏木 進、林 博己

会社創立 金井 稔、野崎正隆、和田雅博、下出元明

幹事報告

- ①次週 9月22日(木)の当クラブ例会は、定款第7条第1節により休会となりますので、お間違えのないようご案内申し上げます。
- ②かねてよりご案内しておりますが、9月29日の例会もパークホテル駐車場が混み合う可能性がございます。なるべく公共交通機関をご利用いただくか、時間に余裕をもってお越しくださいますようお願い致します。



たくさんのニコニコありがとうございます ニコニコBOX

井上善博

10/15地区大会に51名登録していただきました。有難度うございました。本日は(有)インターリンクジャパン代表取締役 阿部さおり氏 に卓話をさせていただきます。感謝して。

小山 茂

本日は、有限会社インターリンクジャパン代表取締役 阿部さおり様 に卓話いただきます。よろしくお願いいたします。

嶋中康晴

例会の欠席が続いておりましたが、十勝の仕事が少し落ちついたので、これからは出席できる日が増えそうです。

清水伸一

本日、卓話をインターリンクジャパンの代表 阿部さおり様 にお祈いしました。北海道ワインの魅力を語って頂きます。よろしくお願いいたします。

市内他クラブのプログラム 9月30日～10月6日

30日(金) 札幌 幌南 (定例夜間例会) 「RYLAセミナー体験報告」	4日(火) 札幌 清田 「ガバナー公式訪問」 RI第2510地区ガバナー 石丸修太郎氏
30日(金) 札幌ライラック *毎月第1週と第3週の開催	4日(火) 札幌大通公園 *毎月第1週と第3週の開催
1日(土) 札幌 手稲 「会員増強プログラム」	5日(水) 札幌モーニング (繰下げ移動例会) 「地区大会」 ※受付なし
3日(月) 札幌 南 「ガバナー公式訪問」 RI第2510地区ガバナー 石丸修太郎氏	5日(水) 札幌 「イニシエーションスピーチ(4)」
3日(月) 札幌 北 「会員増強委員会担当」 体験例会、新入会員入会式」	5日(水) 札幌真駒内 「米山月間に因んで」
4日(火) 札幌 西 「米山奨学生卓話」	5日(水) 新札幌 「ガバナー公式訪問」 RI第2510地区ガバナー 石丸修太郎氏
4日(火) 札幌はまなす 「ゲストスピーチ」 札幌RC幹事 日浅尚子氏	6日(木) 札幌 西北 「社会奉仕卓話」

※9月26日現在の情報です。今後、変更になる可能性もございます。

◆ 例会場／札幌パークホテル TEL 511-3131

◆ 例会日／毎週木曜 12:30

● 会長／井上善博 ● 幹事／小山 茂 ● 会報委員長／大友 累

■ 事務局／札幌市中央区北2条西3丁目 敷島ビル812

TEL 011-231-1297 FAX 011-222-2744

URL <http://ri.sapporo-east.net/>

次回 第3026回 例会予報 10月6日(木)

ガバナー公式訪問

RI第2510地区ガバナー 石丸修太郎氏